

平成23年度事業シート(概要説明書)《※平成22年度実施事業》

事業の概要	事務事業名	歴史館施設管理事業							担当部	教育委員会事務局		
	会計区分	一般会計			事業類型	法定受託系		担当課	文化振興課			
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降		担当係	文化財係			
	総合計画 分野別計 画	主目的	4 教育文化		21 歴史・文化財		1 小牧の歴史・文化財をPRする					
		副目的										
	予算区分	款	10	項	5	目	7	大	2	中	1	
	根拠法令・個別計画	歴史館の設置及び管理等に関する条例・文化振興ビジョン										
	実施・運営 方法	<input type="radio"/> 市が直接実施・運営			<input type="radio"/> 地域住民組織			<input type="radio"/> 一部又は全部委託				
		<input type="radio"/> 指定管理・外郭団体			名称: 小牧市施設活用協会							
		<input type="radio"/> NPO・その他			名称:							
目的 (対象をどの様な状態にするのか)	小牧のシンボル小牧山にある歴史館を多くの方に利用してもらうことで、歴史遺産の再確認、小牧のPRにつなげる。											
内容 (手段)	<p>管理、運営は指定管理。 企画展の開催や館内ガイドの配置、夜間開館の実施等利用者の利便性向上に努めた。また、さくらまつり、お月見まつり、市民まつりなど他の課が行う事業にも協力し、利用拡大をはかっている。 開館時間 午前9時～午後4時30分 休館日 毎週木曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始 入館料 大人100円 小人30円(団体大人60円、小人20円) 企画展示「小牧山と江崎氏～江崎家所蔵史料を中心に～」 期間 平成22年10月1日～平成22年11月3日(30日間) 職員は管理者との調整、入館料の減免、企画展示、開館時間の延長等の諸手続きや、広報活動をおこなう。</p>											
受益者負担	有	内容	入館料 大人 100円(団体60円) 小人 30円(団体 20円) 受益者負担総額 3,548千円									

		単位	H21決算額	H22決算額	H23予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	18,479	20,091	22,813	
		正職員	従事者数	人	0.05	0.05	0.05
			人件費	千円	268	268	268
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0
		費用合計	千円	18,747	20,359	23,081	
	対前年比	%		108.5			
財源	一般財源	千円	14,825	15,902	19,508		
	国・県支出金	千円	0	0	0		
	その他財源	千円	3,922	4,457	3,573		

業	活動指標	活動指標名		単位	H21	H22	H23
		企画展	日	目標	6	24	11
				実績	24	30	
		夜間開館	日	目標	24	24	16
				実績	22	21	
		ガイドボランティア	日	目標		8	8
実績				16			
績	成果指標	成果指標名		単位	H21	H22	H23
		入場者	人	目標	35,000	35,000	35,000
				実績	49,765	53,193	
		企画展・夜間開館入場者	人	目標	—	—	—
				実績	8,751	8,555	

事業の自己評価（一次評価）	事業目的の達成状況	昭和43年の開館以後7番目となる多くの方に入館していただき、多くの方に小牧の歴史を紹介することができた。				
	事業を廃止・休止したときの影響	小牧市内唯一の歴史資料館であるため、伝えていくべき小牧の歴史、文化財を学び親しむ機会を失う。				
	判定	B	市が実施(改善が必要)			
	判定理由	小牧山の山頂という立地条件から、高齢者や体力面に不安を抱える方からは距離感のある施設となっており、身近な場所での情報発信方法を模索する必要がある。				
今後の事業の方向性（今後の取組み・改善計画等）	文化財の利活用のため、積極的に情報を発信するための中心的な役割を果たす機能となるため、身近な場所で情報発信できる有効な活用方法を研究していく。					

二次評価	判定	B	市が実施(改善が必要)			
	判定理由	一次評価のとおり				